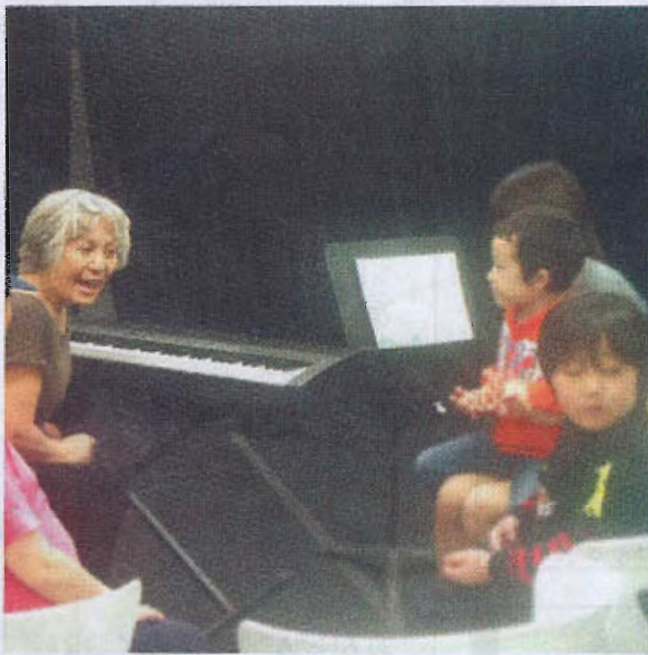


NR ジャクネット

(ノードフ・ロビンズ音楽療法日米コミュニケーション・ネットワーク)

NRジャクネットは、ニューヨーク大学ノードフ・ロビンズ音楽療法センターに所属する音楽療法士達によって作られた団体で、おもに、お子様と保護者の方々へのサービスを中心に行なっています。

NRジャクネットでは音楽療法の施行の他に、「ミュージッキング/Musicing =音楽創り」という活動も行なっています。これは、ノードフ・ロビンズ音楽療法の哲学をベースにした自由な音楽創りの活動で、発達に懸念のあるお子さんや、発達には問題がないと思われるものの周囲への関心の薄いお子さん、お友達とうまく遊べないお子さん、イニシアティブのとれないお子さん、また非常に音楽に興味の強いお子さんなど、どんなお子さんでも音楽創りの中に入れていただくことができます。音楽療法のセッションと同様、個人とグループの両方があります。



私達のセッションは、即興音楽をベースとしており、子どもたちから出るあらゆる反応（音楽的、身体的、心理的）に即興音楽（楽）でかわり、更なる反応を引き出していくことに大きな特徴をもっています。ドラム、シンバル、鍵盤楽器、吹く楽器などありとあらゆる楽器を使うと同時に、声（歌）をたくさん使います。コミュニケーションは、言葉よりも先に、動きや音出しや声を通して始まりますので、音楽の中では、自分の気持や考えを言葉にすることが難しい人達や子ども達でもやりとりを始めることができます。その際、音楽は、正しかったり間違ったりする

ものとして捉えられることなく、子どもが、今、その場で何を体験しているかが重視されます。音楽教育を事前に受けている必要はありません。ここでは、子どもたちを自分自身の成長や発達、行動変容を積極的に引き入れながら、能動的にまわりの世界に参加できるよう、音楽的・非音楽的なスキルを生活の中に応用していく援助をすることを包括的な目的としています。

音楽療法 (Music Therapy) という言葉は、昔と比べるとはるかに耳慣れたものになりました。それでも、個々の生活の中で実際に音楽療法に接する機会はそう多くはないかもしれません。私たち音楽療法士は日頃、特殊教育の現場や障害者施設、高齢者施設、リハビリ施設や精神疾患をもつ方々の施設で働いています。

アメリカでは第二次世界大戦の際に音楽療法を用いたのが初めて、その数年後の1950年にはすでに、全米音楽療法協会 (NAMT) が発足しています。

日米の音楽療法の違いはいろいろ取り沙汰されるところですが、アメリカでの音楽療法の特徴はなんとといっても、構構的にもアプローチ的にも体系的だという点があげられるでしょう

(日本では音楽療法が社会の中で体系的に進化せず、これが認定制度を遅らせたことなどから、「セラピー therapy」と「癒し therapeutic」とが混同されて、音楽療法士がより苦勞する場面がいまだに多いということが言えると思います)。アメリカにおけるこの特徴は、音楽療法のアプローチそのものにも影響しています。ひとくちに音楽療法と言っても、療法の骨子を成す基盤にはいくつかの違いがあります。行動療法を基盤とするもの、ヒューマニスティック心理学を基盤とするものなどで、ノードフ・ロビンズのアプローチは後者にあたりますが、いずれのアプローチであってもセッションの記述は、観察や聴き取りをベースにしたかなり詳細なものです。これが、音楽がセラピーとして成り立つ根幹に在ります。

近年NRジャクネットではメンバーの背景の枠を拡大し、ノードフ・ロビンズ以外の他のアプローチの音楽療法士も含まれるようになりました。

2007年のJAMSNET (法人医療支援ネットワーク) 加盟以来、NRジャクネットでは、サ



クラ・ヘルス・ウィーク及びシニア・ウィークにおいて、レクチャー、ワークショップ、体験会、音楽療法アセスメントなどを毎回行なっています。また、各地域での個人／グループ・セッションの他、クイーンズでは月一度のスペシャル・ニーズの子どもたちのグループを行なっています。今後の展望としては「21歳を超える(た)青少年のためのミュージック・グループ」を企画中です。音楽療法アセスメントも随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

NRジャクネット(ノードフ・ロビンス音楽療法日米コミュニケーション・ネットワーク)

<http://steinhardt.nyu.edu/music/nordoff/japanese/>

連絡先:カオルロビンス

201-626-6012

Kaorurobbins05@yahoo.co.jp



JAMSNET

JAMSNET (ジャムズネット) ホームページ

<http://jamsnet.org/index.php>